

2025 中山軽自動車レース

■大会名称 2025 年 中山 K-C A R 耐久レース

■開催日程及び場所

開催日程 別紙照合

開催場所 中山サーキット

■オーガナイザー (株)山陽スポーツランド

■大会事務局・エントリー受付先

(株)山陽スポーツランド

〒709-0432 岡山県和気郡和気町大中山 751

TEL : 0869-93-2333 FAX : 0869-93-2749

■損害の補償

1. 参加者は参加車両およびその付属品ならびにコースの施設、機材、器具に対する損害の補償責任を負うものとする。
2. エントラント、ドライバー、ピットクルー要員はコース所有者、オーガナイザーおよび大会役員が一切の損害賠償の責任を免除されている事を理解しなければならない。

■エントリーの受付

エントリー期間： 大会開催日の 30 日前から 7 日前迄

締め切り期間のエントリーは、1, 000 円割引

エントリー方法： 大会事務局まで郵送、持参もしくは FAX での申請とする

■エントリーフィー（参加料金）

1. 1 台 **25000** 円（ドライバー4 名まで、ドライバー追加 2.000 円 UP）
2. 別途入場料 1 名 1,000 円が必要する

■タイムスケジュール

8：00～ 8：40 受付および計測器配付

8：10～ 9：00 公式車検

9：10～ 9：30 ドライバーズミーティング

9：45～11：15 公式走行・予選（全クラス）

11：30～12：00 昼休み

12：00～12：30 スタート進行&車両整列

13：00～16：00 決勝（全クラス）

16：30～ 仮表彰式（ノーマル NA&ターボ・オープン NA・ターボ）

17：20～ ゲートクローズ

■車両規定（全クラス）

1. クラスは全 4 クラスに分けてレースを実施する
1. 軽自動車として一般車両として市販された車両を使用すること
2. オープンカーはロールケージの装着を義務とし、その他車両は推奨とする
3. 4 点式シートベルトの装着を義務とする

4. マフラー排気口は後方のみとし、消音器（１つ以上）の装着を実施すること
5. 車両の前後にけん引フックが装着されていること
6. 2kg 以上の ABC 粉末消火器を車両に装備しており、ドライバーが座った状態で取り出す事が出来ること
7. **タイヤは市販ラジアルタイヤのみで、スリックおよび S タイヤは禁止とする**
ホイールサイズやタイヤ外径は自由とし、最大幅は 165mm までとする

※トレッドウェアが TW200 以上のタイヤのみ使用可能で、使用可能本数は 1 レース 4 本までとする。パンク等で交換が必要な場合は 1 本のみ追加で交換を認める

■ ①NA 6 6 0（新規格）クラス

1.1998 年（平成 10 年）以降に製造された新安全衝突基準に適合している軽自動車でノンターボ車のノーマルクラス

- ② N（旧規格）ノーマルクラス
- ③ N ターボ（旧規格） ノーマルクラス
- ④ S クラス ノンターボ車の改造クラス
- ⑤ ST クラス ターボ車の改造クラス

■ ノーマルクラス共通規定

- ・ その年度の国土交通省の車両保安基準に合致した車両であること
- ・ 新車時と異なる型式のエンジンに換装した車両の出走は、公認車検の取得に関わらずすべて認めない。車検の有無は問わないが、車検を取得していない車両であっても以下の車両規則に従い、公道を走行できる状態と同等な仕様でなければならない。

1) エンジン関係

- ・ 純正部品の旋盤加工、溶接、研磨など機械加工は禁止
- ・ ピストンは純正スタンダードサイズに限り使用でき、排気量アップは認めない
- ・ カムシャフトなどの部品の変更も同様で、同一エンジン型式の純正部品に限り使用を認める
- ・ エンジンを載せ替える場合は、車検証上で同一型式(構造変更が必要ない場合)であれば気筒数に関係なく認められる
- ・ ブローバイガス還元装置のホースを吸気系から取り外す場合は、300 ミリリットル以上のオイルキャッチタンクを必ず取り付け、大気開放は禁止とする
- ・ フライホイールは加工や変更を禁止する
- ・ エンジンマウントは市販品に限り変更を認める。ただし、エンジンマウントの位置の変更、エンジンマウント本体の加工は認められない
- ・ 樹脂などを注入する程度の補強は認められる
- ・ コンピューター（E C U）は必ず純正を使用し、書き換えやサブコンピューター・ブーストアップやブーストコントローラーなどは禁止
- ・ 燃調コントローラーとスピードリミッターを解除する為の簡易的な製品のみ装着を認める
- ・ 点火時期やレブリミットなど燃調以外を変更できる製品や、コンピューターに接続しデータを書き換えできる製品は認めない
- ・ 電子制御のスロットル車にはスロットルコントローラーの装着を認める

- ・ 燃料タンクの加工、コレクタータンクの装着、安全タンクへの変更はすべて認められない
- ・ インジェクター容量や燃料ポンプ吐出量の変更も不可とする

吸気系

- ・ エアクリナーボックスやパイピングの変更が認められる
- ・ エアクリナー本体は剥き出し、純正交換のどちらでも構わない
- ・ 耐熱バンテージや導風板の装着も認められる
- ・ スロットルボディの加工や流用を含む変更を認めない
- ・ 排ガスや音量など、保安基準に適合する範囲内であれば、マフラー(フロントパイプ・センターマフラー・リヤマフラー)に限って変更が認められる
- ・ 触媒及びエキゾーストマニホールドは純正を使用し、位置の変更や加工はすべて禁止
- ・ マフラーの出口は後方のみとする

2) 足回り関係

- ・ 前後のタイヤサイズは同一でなければならない
- ・ ブッシュ類は強化品への変更が認められる
- ・ ピロボールも使用できる
- ・ スプリングは自由長やレートの変更は自由だが、9 cm 以上の最低地上高が確保されており、縦方向に遊びがない状態でなければならない
※レース中も含め最低地上高が9 cm 以上でなければならない
- ・ ダンパーは倒立式や別タンク式を含めて、変更が認められる。材質は自由で、減衰力を室内から調整するコントローラーも使用できる
- ・ 制動装置はボルトオンで装着可能なブレーキパッド・ローター・ホース・キャリパー・マスターシリンダーなどの装着が許される。またバックプレートの取り外しは認められ、マスターバックの取り外しは認められない

3) 駆動間系

- ・ クラッチはディスク・カバー・ホースの変更が認められる
- ・ ディファレンシャルは、機械式 LSD の使用は認められない（新車時から装着されているヘリカル等は除く）

- ・ 駆動方式は、ベース車両の駆動方式を変更することはできない

4) ボディ関係

- ・ ボルトオンの補強バーなどを取り付けることは認められるが、スポット増しを始め溶接などによるボディ補強はすべて禁止とする

○外装

- ・ バンパーの大幅な加工は禁止（オイルクーラー取り付けに伴う干渉部分の削りは可とするが大幅なカットは禁止する）
- ・ 軽量化及び空力アップの為の多大な穴あけカットは禁止
- ・ 空力装置は、保安基準に抵触しない限り問題はないが、ボディ幅が軽自動車のサイズを超えるフェンダーなどは認められない。構造変更を行ったとしても禁止とする

- ・ フロントガラスを変更する場合は、新車時に装着されていたものと同じ合わせガラスに限り認める。リヤクォーターガラスとリヤウィンドウの亚克力への変更は可能。純正の開閉装置を使用
- ・ フロント及びフロントサイドガラスへの塗装、色付きフィルムの貼り付け、ステッカーは認められない
- ・ サイド及びリヤガラスは保安基準に抵触せず、且つ視界の妨げとならない限り、色付きフィルムやステッカーの貼り付けを認める

○ドア

- ・ 軽量ドアの装着、サイドドアビームの切断などの加工はすべて認められない。純正サイドドアビームと同等以上の強度を確保したサイドバーを装着した場合のみ、純正サイドドアビームの切断や取り外しが認められる

エアコン及びヒーター

- ・ エアコンの取り外しは認められる
- ・ ヒーターの取り外しは禁止する

○座席、内装

- ・ バケットシートへの変更を認める。ただし、シートを車体フレームへ直に取り付けることや、スライド機構がないシートレールは認められない
- ・ 参加車両は、レース中に運転席を除くシートを取り外すことができる
- ・ ダッシュまわりと左右ドアの内張りは取り外し不可

■改造クラス

1. 車両規定（全クラス）以外の改造は自由とする

■章 典

各クラス 1位～3位までトロフィー進呈

注：エントリーフィーを低価格にする為 副賞は、ありません

■シリーズの賞典

1 シリーズ賞典対称クラス

開催数が3分の2以上なければシリーズとして成立しない。

2 シリーズポイント

シリーズポイントは決勝ヒートの順位に応じて下記の通り与えられる。

1位・・・15	5位・・・6	8位・・・3
2位・・・12	6位・・・5	9位・・・2
3位・・・10	7位・・・4	10位・・・1
4位・・・8		

3 シリーズの有効ポイント

- ・ 同ポイントの場合は最終レースの結果で決定する。